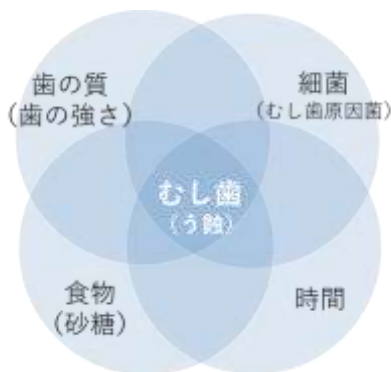


フッ化物洗口について

1. むし歯とむし歯予防について

- むし歯（う蝕）とは、歯の表面のプラーク（歯垢）に存在する細菌が飲食物中の糖分を摂取・分解して出した酸により、歯が溶かされ（脱灰）、穴があくことをいいます。
- 通常、糖分摂取により細菌から酸が出されても、唾液は酸を緩衝して中性に近づけようとします。また、唾液は、カルシウムやリン酸を含んでおり、これらが脱灰された歯を修復（再石灰化）します。しかし、糖分摂取が頻繁で、再石灰化が間に合わず、脱灰された状態が続くと、歯はそのうち崩壊します。
- 上記のように、むし歯は、「歯の質（歯の強さ）」「細菌」「食物」「時間」が経過することで起こります。これらの4つの要素に対してアプローチしていくことで、むし歯は予防することが可能です。



むし歯の要因に対する予防方法

- ・ 歯の質：フッ化物応用やシーラント
- ・ 細菌：歯磨きによるプラーク除去
- ・ 食物：糖分を含む食品の摂取制限
- ・ 時間：上記の条件が重なる時間を短くする

2. フッ化物について

- フッ素は、化学的に合成されたものではなく、自然界に広く存在している元素です。
むし歯予防に用いられるフッ素は、「フッ化ナトリウム」で、お茶等に含まれているものと同じです。適切に使用・摂取すれば人体に害はありません。
(有機フッ素化合物とは性質や用途も全く異なります。)

- フッ化物は、以下の3つの作用により、むし歯予防に効果があります。

- ① 歯を強くする（歯質強化）
- ② 初期むし歯の再石灰化促進・むし歯の進行抑制
- ③ 抗菌作用

- フッ化物を利用したむし歯予防は、世界保健機関（WHO）、厚生労働省や専門学会等が効果的かつ安全な方法として推奨しています。

- フッ化物を利用したむし歯予防の手法は主に以下の3つがあります。

① フッ化物配合歯磨き剤

フッ化物が配合された歯磨き剤を使用し、歯磨きを行う方法です。フッ化物イオン濃度としては1,450ppm、950ppmの製品が多いです。

② フッ化物塗布

歯科医師又は歯科医師の指示を受けた歯科衛生士により、歯科医療機関などにおいて、比較的高濃度（9,000ppm）のフッ化物を歯に塗布する方法です。

③ フッ化物洗口

フッ化物洗口液を用いてぶくぶくうがいをする方法です。週1回洗口する方法と、毎日（週5回）洗口する方法があり、週1回法では900ppm、週5回法では250ppm又は450ppmの医薬品を用います。

- このうち、フッ化物洗口法は、永久歯エナメル質の成熟が進んでいない幼児および児童生徒等を実施することが効果的といわれており、とくに 4 歳 から 14 歳までの期間に実施することで最も大きな効果をもたらします。

3. フッ化物洗口について

① 事業の目的

市内小学生の歯・口腔の健康づくりに関する意識を高めるとともに、フッ化物洗口の実施によりう蝕を予防します。

② 事業の対象

市内対象校対象児童

③ 実施主体

川崎市教育委員会

④ 実施方法

9月から3カ月程度、週1回実施します。

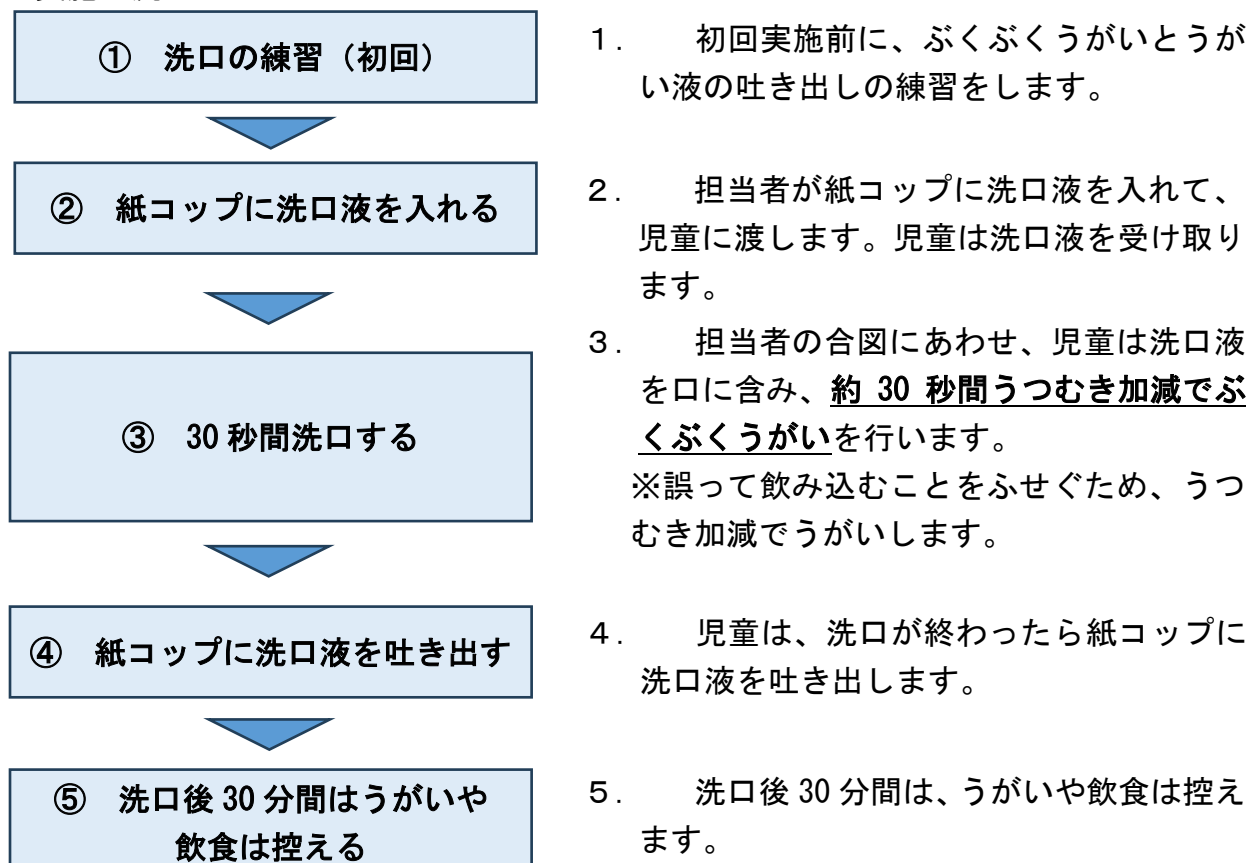
⑤ 使用する薬剤

液体のフッ化物洗口剤（オラブリス洗口液 0.2%（ジーシー昭和薬品））を使用する予定です。

⑥ 持ち物

フッ化物洗口の実施にあたり、ご家庭でご用意していただくものではありません。

⑦ 実施の流れ



⑧フッ化物の安全性

- フッ化物洗口液については、たとえ1人1回分を全量誤飲した場合でも、直ちに健康被害が発生することはありません。なお、フッ化物を過剰に摂取することで中毒が起こりますが、フッ化物洗口液により起こることはありません。

- ・ 急性中毒

通常のフッ化物洗口の方法であれば、フッ化物の急性中毒の心配はありません。

- ・ 慢性中毒

長期間継続してフッ化物を過剰摂取した場合に生じうるフッ化物の慢性中毒には、歯と骨のフッ素症があります。フッ化物洗口における微量な口腔内残留量等では、歯のフッ素症が発現することはありません。また、骨のフッ素症は、8 ppm 以上の飲料水を 20 年以上飲み続けた場合に生じる症状であり、フッ化物洗口における微量な口腔内残留量では、発現することはありません。

出典：「フッ化物洗口の推進に関する基本的な考え方」

(令和4年12月28日付厚生労働省医政局長・健康局長通知)

⑨緊急時の対応

- 本事業では、学校の教職員等が児童を見守り、大量のフッ化物誤飲が起こらないよう、細心の注意を払って実施します。
- 万一、誤飲が発生した場合、学校歯科医及び学校医と連携し対応します。

⑩その他

- 保護者がフッ化物でのうがいを希望しない児童は、水道水で同様に実施するなど対応します。